

# 記入例

申請書の提出日

日付をさかのぼった受付はできません

〇〇年 4月1日

(宛先) 新潟市長

代表者 住所 **新潟市〇区〇丁目〇-〇**  
団体名 **〇〇地域コミュニティ協議会**  
代表者 氏名 **新潟 一郎**  
代表者電話番号 **〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇**

## 地域活動補助交付申請書

新潟市地域活動補助金交付要綱（以下、要綱という）第8条の規定により、下記のとおり申請します。

### 記

事業の名称	<b>安心・安全なまちづくり推進事業</b>
事業の目的及び内容	<b>小中学生の登下校時の見守り活動、防犯パトロール活動を行い、安心・安全なまちづくりを推進する。 また、地域の防犯力の向上を図るための講座を開催する。</b>
実施予定期間	〇〇年 4月1日～ 〇〇年 3月31日
補助対象経費の総額	<b>112,800円</b> <span>収支予算書の合計金額を記入</span>
事業区分（補助率） （□にチェック）	<input checked="" type="checkbox"/> 年度内で概ね継続して実施される活動事業で、重点分野※に該当するもの ※地域福祉、教育、防災・防犯、環境美化、地域計画策定、人口減少対策（A型10/10） <input type="checkbox"/> 協議会広報事業に関するもの（B型3/4） <input type="checkbox"/> 上記以外の活動事業（C型1/2） <input type="checkbox"/> コミ協重点事業（10/10）
交付申請額	<b>112,000円</b> <span>補助限度額を超えた経費や補助金額から千円未満を切り捨てた額は自己負担となります</span>
情報の公表の内容、方法及び時期	<b>新潟市補助事業と記載したチラシを配布 コミ協だよりにも同様に開催案内を掲載</b>
確認事項 （□にチェック）	<input checked="" type="checkbox"/> 申請する事業は、要綱第7条各号に掲げる事業に該当しません。

新潟市地域活動補助金交付要綱（抜粋）

（補助対象外事業）

第7条 次の各号のいずれかに該当するものは補助の対象事業としない。

- (1) 当該事業が、本市、他の公共団体又はこれらが出捐若しくは出資する団体が行う財政的支援を受けているもの又は申請しているもの
- (2) 事業内容が、趣味的な活動を目的とするもの、特定の人や団体の利益を目的とするもの
- (3) 当該補助事業が宗教的活動若しくは政治的活動を目的とするもの又は当該補助事業の効果が、宗教的活動若しくは政治的活動に対する援助、助長等につながるとみなされるもの
- (4) 事業内容が、本市又は他の機関、団体などに対する陳情、要望となっているもの
- (5) 事業内容が、団体から他の団体等への単なる補助となっているもの
- (6) 事業内容が、物品等の購入又は配布を主たる目的とするもの
- (7) 事業の主たる効果が市外で生じるもの
- (8) 公序良俗に反するなど適当でないと認められるもの
- (9) 当該事業により生じた利益、残余財産等を構成員に分配するもの
- (10) これまで補助金の助成や自主財源等により実施していた新規性のないもの（協議会が既に当該補助金に統合した補助制度の助成を受けていたものは除く。）

講師のプロフィールが分かる資料、チラシの原案等

### 【添付書類】

1. 事業計画書
2. 収支予算書
3. 補助対象者の概要に関する調書（協議会、自治会等は不要）
4. 補助対象者の会則（協議会、自治会等は不要）
5. その他市長が必要と認める書類

# 事業計画書

(1) 事業名	安心・安全なまちづくり推進事業
(2) 地域課題の内容	<p>地域の子どもを狙った犯罪や、不審者が増えてきている。また、小中学生の通学路は交通量の多く、信号機がない危険な箇所がある。</p> <p>具体的な地域課題を記入してください</p>
(3) 事業の目的	<p>見守り活動を行い、交通事故の防止に取り組むとともに、防犯について地域住民と一緒に考える機会を設け、防犯意識の向上を図り、安心・安全なまちづくりを推進する。</p> <p>上記(2)の地域課題を踏まえて事業の趣旨や目標などを簡潔に記入してください</p>
(4) 事業の内容	<p>①事業の実施場所</p> <p>〇〇コミュニティセンター</p> <p>②対象者</p> <p>〇〇小学校、〇〇中学校の生徒 500名程度</p> <p>〇〇地区の地域住民 100名程度</p> <p>③具体的な課題解決の方法</p> <p>交通量が多く、危険な箇所を中心に小中学校の登下校時の見守り、防犯パトロールを行う。</p> <p>〇〇氏を招いて、防犯に関する講座を開催し、最新の犯罪の傾向や、いざという時の対処方法などを学ぶとともに、参加者同士による意見交換を行う。</p> <p>上記(3)の目的を達成するための具体的な方法を記入してください</p>
(5) 事業のスケジュール（実施期間 〇〇年 4月 1日～ 〇〇年 3月31日）	<p>※ 実施時期、活動内容、活動日数を具体的に記入してください</p> <p>※ 団体の役員のみで行われる打ち合わせや準備活動は記入しないでください</p> <p>4月1日～3月31日 登下校時の見守り、パトロール(200日間程度)</p> <p>6月中旬 講師との打ち合わせ(1日間)</p> <p>6月下旬 安全部会で講座の打ち合わせ、チラシ作成、配布(2日間)</p> <p>8月6日 講座の実施(1日間)</p>
(6) 見込まれる成果	<p>登下校時の見守りにより小中学生の交通事故防止を図るとともに、あいさつ運動を行うことで、地域のつながりを深める。また、地域住民による防犯パトロールを行うことで、犯罪のない安心・安全なまちづくりを推進する。講座では、講師による講演のほか、参加者同士での意見交換により地域内での危険な箇所の共有を図るなど、防犯に関する意識の向上につながる。</p> <p>この補助事業を行うことにより、どのような成果が期待できるのか記入してください</p>



# 記入例

## 収 支 予 算 書

II 支 出

(単位：円)

事業収入等や自己資金の充当先を記載します

項 目	予算額	収入等の 充当先	摘 要
報償費	30,000		講師謝礼@30,000円×1人
旅費	20,500		講師旅費 20,500円（東京～新潟 新幹線利用）
消耗品費	26,800		コピー用紙（2,000枚）@450円×4組=1,800円 プリンターインクカートリッジ 5,000円 見守り用ベスト（各入れ有）@1,000円×20着= 20,000円
印刷製本費	20,000		講演会チラシ@10円×2,000枚=20,000円
通信費	1,100		切手代@110円×10（講師との連絡用）
食糧費	14,400	◎	飲み物@120円×120人（スタッフ、講師分含む）
合 計	112,800		収入の合計額と同額になります

食糧費は、1人500円まで、かつ1事業あたり2万円までとなります  
（ただし、地域コミュニティ協議会は事業規模により上限額が変わります）

※ 補助対象経費は、すべての経費を計上してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、

収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。